



2025年1月30日

各位

会社名 株式会社クリーク・アンド・リバー社  
代表者名 代表取締役社長 黒崎 淳  
(東証プライム コード番号 4763)  
問合せ先 執行役員 経営企画グループ  
グループマネージャー 枅尾 有紀  
(TEL:03-4550-0008)

## 株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの 合弁会社設立に関する合弁契約締結のお知らせ

当社は、株式会社バンダイナムコエンターテインメント(以下、バンダイナムコエンターテインメント)と合弁会社設立及び運営に関する合弁契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 合弁会社設立の目的と背景

当社は、「プロフェッショナルの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」をミッションに掲げ、映像、ゲーム、Web、広告・出版、AI/DXなど、現在、18分野においてプロフェッショナル・エンジェンシー事業を展開しております。1996年にスタートしたゲーム分野においては、国内最大級のゲーム領域における開発スタジオを強みとして、3DCG、2DCG、VFX、シナリオ、遊技機、XRなど、リソース制作から総合開発まで数多くのゲーム開発に携わっております。

一方で、バンダイナムコエンターテインメントは、バンダイナムコグループパーパス「Fun for All into the Future」のもと、中期ビジョン「Connect with Fans」を掲げ、IP(キャラクターなどの知的財産)を軸に世界中のファンのみなさまとつながることを目指しております。家庭用ゲーム、ネットワークコンテンツやライブなどのアソビエンターテインメントを通じて、長く深く遊べる良質なコンテンツと多彩なエンターテインメントを提供しております。

このたび設立する合弁会社・株式会社URS Games(読み:ユアーズゲームス)においては、C&R社の幅広い専門性とバンダイナムコエンターテインメントのIP展開やゲーム制作、マーケティング力を掛け合わせることで、より高品質でより幅広い方々に楽しんでいただけるモバイルゲームの開発を目指してまいります。

#### 2. 社名の由来

ゲームを中心としたエンターテインメント事業において、誠実(Sincerity)にお客様一人ひとりと向き合い、ユーザーファースト(User First)の精神で魅力的なコンテンツをお届けするとともに、キャラクター表現やネットワーク技術、豊富な運用経験を最大限に活かし、責任(Responsibility)を持って最後までやり抜くものづくりを追求していきたいという思いが込められています。

3. 合弁会社の概要

(1) 名称	株式会社URS Games(読み:ユアーズゲームス)
(2) 所在地	東京都江東区深川2-2-18
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 青木克仁 (現職:株式会社クリーク・アンド・リバー社 取締役(CMO)を兼務)
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイルゲームを中心としたゲームの開発・運営の受託事業</li> <li>・エンターテインメントコンテンツ開発事業</li> <li>・エンターテインメントビジネス支援事業</li> <li>・その他の事業</li> </ul>
(5) 資本金	7,500万円 (資本準備金:7,500万円)
(6) 設立年月日	2025年4月1日(予定)
(7) 決算期	2月
(8) 出資比率	株式会社クリーク・アンド・リバー社:51% 株式会社バンダイナムコエンターテインメント:49%

4. 合弁契約の相手先の概要

(1) 名称	株式会社バンダイナムコエンターテインメント	
(2) 所在地	東京都港区芝5-37-8 バンダイナムコ未来研究所	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宇田川 南欧	
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用ゲーム事業</li> <li>・ネットワークコンテンツ事業</li> <li>・アソビエンターテインメント事業</li> </ul>	
(5) 資本金	100億円	
(6) 設立年月日	1955年6月1日 ※バンダイナムコエンターテインメントの前身である 旧株式会社ナムコの創業年月日	
(7) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社の取引先であります。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年1月30日
(2) 契約締結日	2025年1月30日
(3) 合弁会社設立	2025年4月1日(予定)
(4) 事業開始日	2025年4月1日(予定)

6. 今後の見通し

本件が当社の2025年2月期業績に与える影響は軽微であります。今後、業績への影響を精査し、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上